

# いまばり夢学校 2007 第1回企画会議報告

日時；平成19年4月22日（日）10：00～15：00  
場所；今治市民活動センター（別宮町8-1-55）  
参加者；学生スタッフ13名

「いまばり夢学校」は、市民活動団体が先生となり、地域の子供たちが身近な生活課題や豊かなまちづくりについて学ぶ学校です。大人と子どもが計画段階から主体的に参画することを願い、複数回開催される企画会議や研修会を重要視しています。多くの人に参加を促す広報、有意義な現場をつくる運営、活動の成果を伝える報告などについて学ぶことを通して、よりよい人間関係を育むことを期待しています。

第1回企画会議は、子ども達の初顔合わせとなりました。これから、みんなで話し合いを重ね合意を形成したり、力を合わせて現場を支えたりする仲間です。誰もが発言しやすい雰囲気をつくり、みんなが目的や役割を理解し合うための時間を十分に確保しました。

## 1. 参加者が知り合う

### ①自己紹介フルーツバスケット

募集チラシから情報を得て集まった今治市内の学生達が次々に会場に到着します。受付を済ませ、着席した表情には緊張の色が伺えます。首には、「みんなに呼んでももらいたいニックネーム」を書いた名札をさげてもらいました。

「夢学校は、みんなで決める、みんなで作る学校です。」と伝えました。そして、初めて会ったここにいるメンバーが仲良くなるにはどうしたらいいか、尋ねました。「自己紹介をする」

「ゲームをして楽しむ」という提案を受け、自己紹介をかねたフルーツバスケットがスタートです。

「めがねをかけている人」「血液型がA型の人」など、様々な題目が出され、年代を超えてみんながゲームを楽しみました。息を切らせながら、着席できなかった人は、特技や趣味をみんなに披露。短時間で和やかな雰囲気が会場に広がっていきました。



### ②ショートインタビューゲーム

集まった小学6年生から高校3年生、そして主催者である「今治NPOサポートセンター」スタッフと幅広い年齢層のメンバーが、それぞれの立場や願いを共有するために、小さなグループをつくり、コミュニケーションを深めました。

高校生が小、中学生に声をかけ、夢学校への参加動機を聞き出したり、自らの思いを伝えたりする姿が見られました。また、主催者の願いや夢学校のいいところについて質問が寄せられました。



## 2. いまばり夢学校を知る

過去3年間の夢学校のビデオ映像を見て、目的や手法、関係者の役割分担について共有しました。

「いまばり夢学校」のあらかじめ決まっている方向性を伝えることにもつながりました。

集まったメンバーは、より深く参画できる夢学校に魅力を感じてくれたようです。また、同時に子ども達の代弁者として大人に向き合うという自らが置かれた立場を理解し、使命感を持ち合わせてくれたようです。

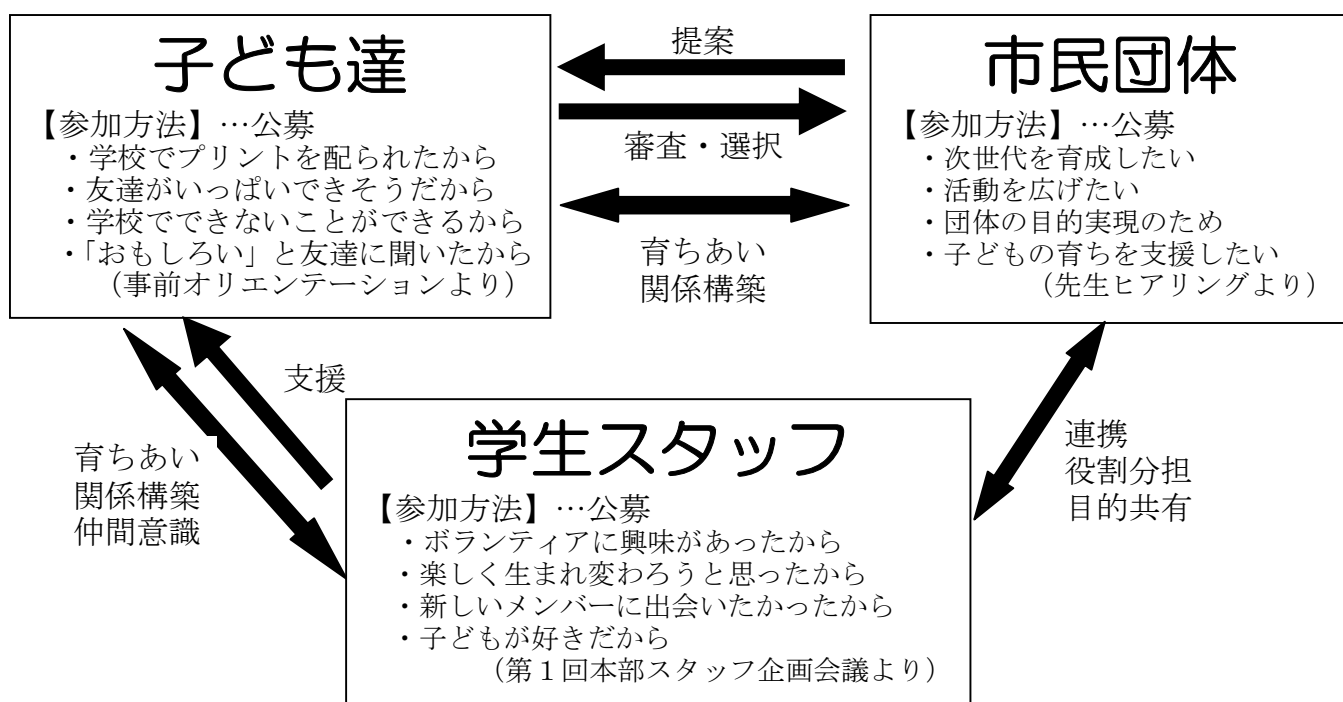
### ①これまでの夢学校

#### プログラムの内容を子ども達自らが選択

プログラムの内容は、子ども達自らが選びます。子ども達の動機や情熱を大事にする工夫です。スタッフは、グループでのプログラムの選択を支援します。多数決などの安易な方法で決めず、最後まで話し合いを展開します。自分の考えを发表或し、他人の思いを受け入れたりする中で、仲間と目標を共有していきます。

#### みんなが納得できるプロセスを重視

プログラムの中でも、学んだ後の自分の内面の変化を仲間と共有するなど、コミュニケーションの機会を大切にしています。子どもも先生もスタッフも、水平な関係の中でディスカッションし、みんなが成長できる場を目指しています。



(図1) これまでのいまばり夢学校関係図

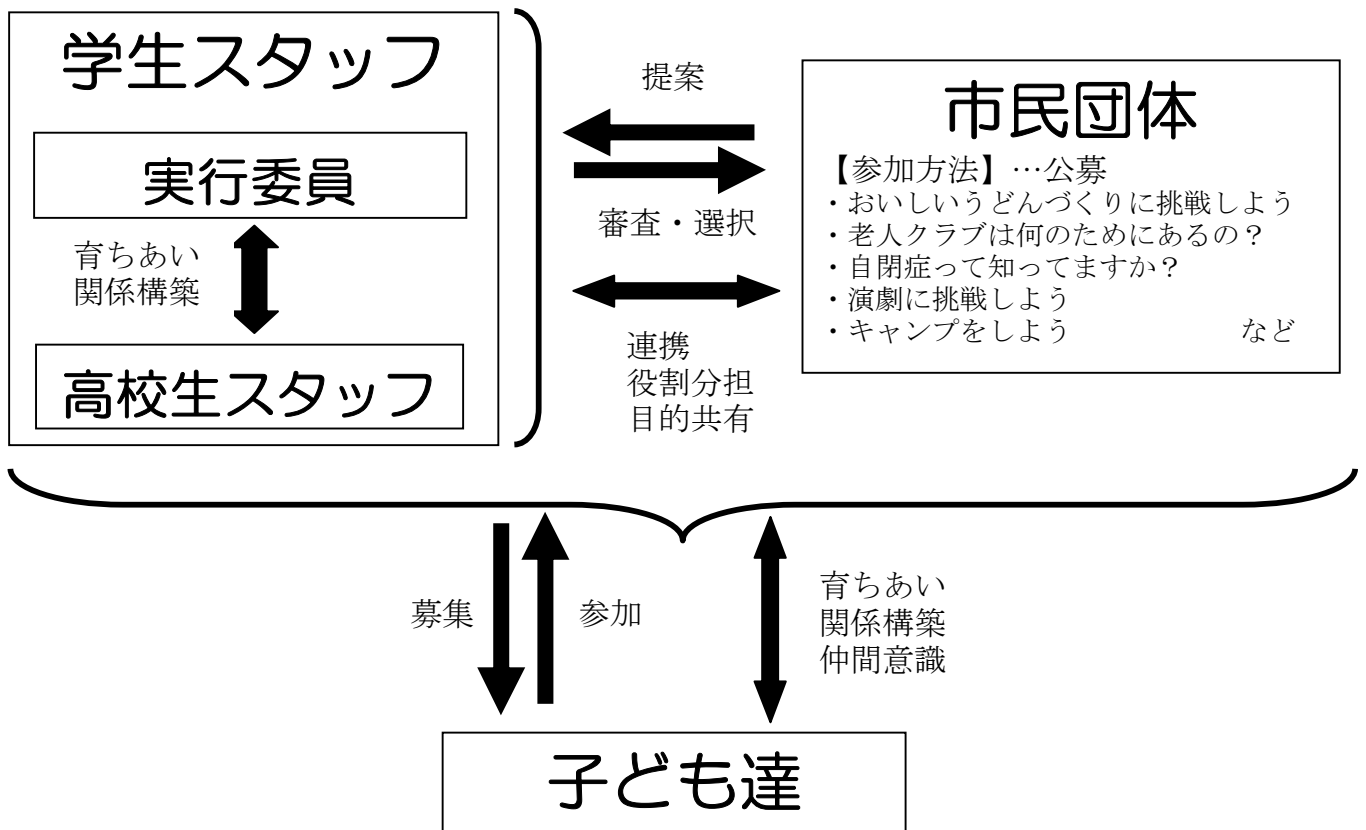
## ②2007 年度夢学校

### 企画のパートナーとして深くコミット

これまでの夢学校は、大人が考えたプログラムの内容から、子ども達自らが学びたい内容を選択し、参加するしくみでした。選択のプロセスで子どもの意見を汲み取ることができる有意義なしくみでした。今年度はさらに子ども達の参画度を高めるために、企画段階からのパートナーとして参加するしくみに変えました。体験型ヒアリングを通して、パートナーを選択。パートナーと共に、企画立案、広報を行います。

### 学びの成果を地域に発信

体験中に得た活動の意義や魅力を、大人と子どもがそれぞれの目線で振り返ります。そして、それらを他者に伝えるビデオ（映像）、ラヂオ（音声）、ミニコミ誌（文字）、ホームページなどを作成します。他者に伝えるために求められる、自らの思いをまとめる作業に挑戦します。



(図2) 2007 年度いまばり夢学校関係図



### 3. 昼食

みんなでサンドイッチをつかって、食べました。役割分担がスムーズに行われ、打ち解けた雰囲気の中で食事がすすみました。



### 4. 大人のイメージを出し合う

企画を進めていくにあたって、パートナーとなる大人のイメージを共有しました。

「どういう意味」とカードを見ながら意見交換する中で得た、子ども達が日常的に肌で感じている大人の像は新鮮なものがありました。

#### ①大人のイメージ

- ・やさしい
- ・背が高い
- ・仕事でいっぱい
- ・うるさい
- ・こわい
- ・力持ち
- ・コーヒーをよく飲む
- ・ニートじゃない
- ・ニートがいる
- ・無関心
- ・変な人がいる
- ・全体的にくさい
- ・子どもの気持ちをわかってくれない
- ・大人でしかできない事がたくさんある
- ・車に乗っている
- ・数字の世界
- ・酒くさい
- ・たばこが多い
- ・正しい判断ができる
- ・現実をみすぎている
- ・～らしくが口ぐせ
- ・自殺が多い
- ・キモイ
- ・うるさい
- ・あいさつしてくれる
- ・うざい
- ・すごい
- ・少年の心を持ち続けたまま大人になっている
- ・ふしんしゃが多い
- ・守ってくれる
- ・頼りになる
- ・何でも教えてくれる
- ・強い
- ・ずるい
- ・忙しい
- ・責任感がある
- ・夢がある
- ・いやらしい
- ・視野が広い
- ・おこりっぽい
- ・子どもが大好き
- ・時間にルーズ
- ・経験が豊富
- ・人に耳をかさない
- ・グルメ
- ・お金を持っている

## ②一緒に企画をしていくパートナーはどんな人がいい

たくさんの大人のイメージを共有した後は、2つのグループに分かれ、パートナーに求める大人像を構築しました。大人の思いを聴く体験型ヒアリングの際は、プログラム内容を聞きだすだけでなく、自らが描いたパートナー像が選択の評価軸になりそうです。

<p style="text-align: center;"><b>【1班の個々人の思い】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やさしい人</li> <li>・心が広い人</li> <li>・ホットな人</li> <li>・夢のある人</li> <li>・ルールを守る人</li> <li>・しっかり者</li> <li>・力が強い人</li> <li>・指導の上手な人</li> <li>・アクティブな人</li> <li>・柔軟な考えができる人</li> <li>・考える力のある人</li> <li>・気のあう人</li> <li>・かっこいい人</li> <li>・たばこをすわない人</li> <li>・宿題を教えてくれる人</li> <li>・眼鏡の人</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>【1班の合意内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●やさしくて、笑顔の絶えない人</li> <li>●明るくて、元気な人</li> <li>●積極的に行動して、みんなのことを考えてくれる人</li> <li>●しかる時にきちんとしかってくれる人</li> <li>●ルールをきちんと守る人</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>【2班の個々人の思い】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談にのってくれる人</li> <li>・無視をしない人</li> <li>・困っていたら助けてくれる人</li> <li>・子どものことを思ってくれる人</li> <li>・子どもが大好きな人</li> <li>・差別をしない人</li> <li>・男も女も関係なく仲良くする人</li> <li>・「無理やろ」ってむやみやたらに言わない人</li> <li>・先生&gt;生徒じゃなく、先生≧生徒の関係</li> <li>・分別がある人</li> <li>・ずるいことをしない人</li> <li>・何事も積極的に取り組む人</li> <li>・いろいろなことを知っている人</li> <li>・相手が好きでもきちんと怒る人</li> <li>・おもしろくていつも笑わせてくれる人</li> <li>・誰とでも楽しい場をつくれる人</li> <li>・片づけができる人</li> <li>・笑顔がいっぱいの人</li> <li>・たばこを吸わない人</li> <li>・話を聞いてくれる人</li> <li>・親身になってくれる人</li> <li>・わからない時は教えてくれる人</li> <li>・子どもの目線に立ってくれる人</li> <li>・やさしい人</li> <li>・人間の内側を見てくれる人</li> <li>・平等にみて判断する人</li> <li>・みくださない人</li> <li>・身の回りに目を配ってくれる人</li> <li>・きれい事を言わない人</li> <li>・伝えたい事が明確な人</li> <li>・考えるより先に行動にうつす人</li> <li>・身だしなみがしっかりしている人</li> <li>・あいさつをしてくれる人</li> <li>・お酒をあまり飲まない人</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>【2班の合意内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●相談にのってくれる優しい人</li> <li>●差別をせず、人間の内側を見てくれる人</li> <li>●面白くて子どもが好きな人</li> <li>●お互いの気持ちの交流がはかれる人</li> <li>●何にでもチャレンジさせてくれる人</li> </ul>

## 5. スタッフの役割を考える

大人の側にコミットしたいと思ってもらえるよう、今度は、スタッフが「守ること」「最低限のマナー」を検討します。自分自身や相手との関係を想像し、広い視野で考えることにつながりました。

<p style="text-align: center;"><b>【1班の個々人の目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どものようにさわがない</li> <li>・さわぐ時はさわぐ、話す時は話すなどのメリハリをつける</li> <li>・はじめをつける</li> <li>・協力する気持ちを一人一人が持つ</li> <li>・ゆずりあう</li> <li>・助け合う</li> <li>・周りの状況をよくみて行動する</li> <li>・先生のいうことを聞く</li> <li>・約束を守る</li> <li>・人任せにしない</li> <li>・時間を守る</li> <li>・大人と協力する</li> <li>・大人と一緒に行動する</li> <li>・大人と互いを認め、尊重しつつ、対等に</li> <li>・子どもに手をあげない</li> <li>・子ども達にもはじめをつけてもらう</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>【1班の合意内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●はじめをつける</li> <li>●協力し合って、時間を守る</li> <li>●けんかをしないで仲良くする</li> <li>●自分の意見も相手の意見も尊重する</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>【2班の個々人の目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仲良くする</li> <li>・笑顔で接する</li> <li>・楽しく活動する</li> <li>・楽しい時間を過ごす</li> <li>・分からないことはすぐに人にたずねる</li> <li>・スタッフ同士で順序の確認をする</li> <li>・協力する</li> <li>・助け合う</li> <li>・困っている人を見かけたら助けよう</li> <li>・ゆずりあう</li> <li>・積極的に取り組む</li> <li>・一人一人が意見を主張する</li> <li>・お互いに逃げず、ちゃんと向き合う</li> <li>・たくさん話し合う</li> <li>・素直に意見を聞く</li> <li>・責任をもって仕事をこなす</li> <li>・ルールを守る</li> <li>・時間を守る</li> <li>・人の話は最後まで聞く</li> <li>・感謝の気持ちを持つ</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>【2班の合意内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●みんなで仲良くして、楽しい時間を過ごす</li> <li>●みんなが納得できるまで話し合う</li> <li>●最後までやり通す</li> <li>●一人はみんなのために、みんなは一人のために ～ one for all all for one ～</li> <li>●全ての人に感謝の気持ちを持つ</li> </ul>

## いまばり夢学校 2007 スタッフとして大切にしたいこと

一人はみんなのために、みんなは一人のために  
～ one for all all for one ～

- ①けじめをつけよう
- ②協力しよう
- ③時間を守ろう
- ④みんなで仲良くして、楽しい時間を過ごそう
- ⑤自分の意見も相手の意見も尊重し、みんなが納得できるまで話し合おう
- ⑥最後までやり通そう
- ⑦全ての人に感謝の気持ちを持つよう

2つのグループの意見をまとめ、スタッフとして大切にしたいこと7か条をつくりました。まだ出会っていない子ども達、地域の大人との関係性を整理することは、大変難しい作業でしたが、みんな想像力を働かせて意欲的に取り組みました。たくさんのカードが出てきたこと、短時間で「夢学校」のことを理解してくれたことにとても感心しました。



高校生スタッフが、小中学生実行委員をリードし、有意義な場づくりが初回から行なわれました。みんなでこの会を創ろうとする雰囲気、作業を魅力あるものにし、短時間で大きな成果が得られました。次回へつなげたいと思います。